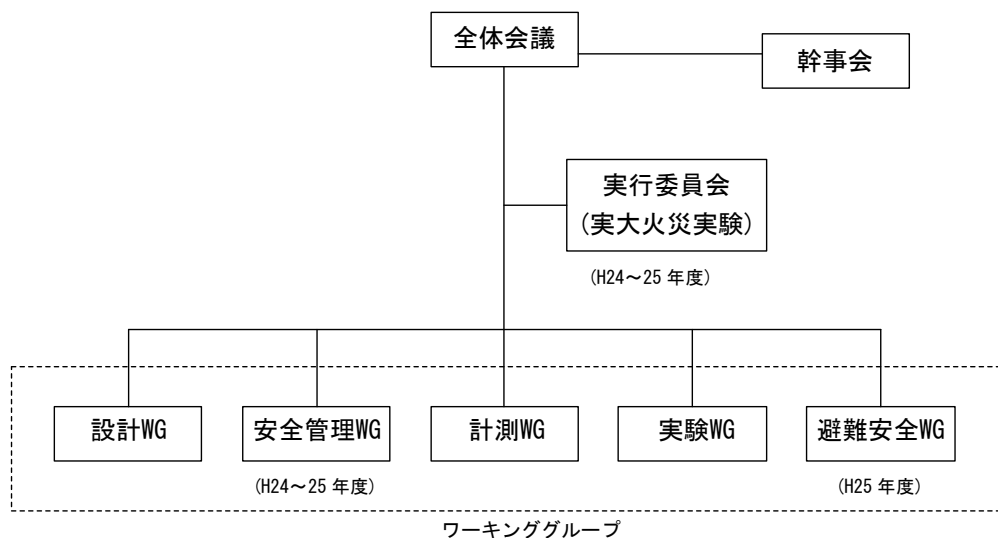


2. 検討方法

本研究は、図2.1-1に示すとおり会議・委員会及びワーキンググループ（以後、WGと呼ぶ）等を設置して検討を進めた。



() 内は設置年度。特記なきはH23~25年度

図 2.1-1 委員会等の構成

それぞれの会議・委員会及びWGの設置目的は以下の通りである。

- ・ 全体会議：本研究の実施にあたり、関係省庁・機関・団体との連絡・調整を円滑に図る
- ・ 実行委員会：木3学の実大火災実験の実施にあたり、運営・実行方針を検討する
- ・ 幹事会：全体会議及び各WGの役割・全体方針について検討する
- ・ 設計WG：木3学の実大火災実験の実施にあたり、試験体の設計について検討する
- ・ 安全管理WG：木3学の実大火災実験の実施にあたり、実験敷地のある行政・消防との協議も含め、安全管理について検討する
- ・ 計測WG：木3学の実大火災実験の実施にあたり、計測項目・方法について検討する
- ・ 実験WG：木3学の実大火災実験の実施にあたり、教室実験、屋外区画実験、噴出火炎実験、及び部材実験について検討する
- ・ 避難安全WG：木造3階建て学校の実大火災実験の試験体を利用して、建物使用者の避難安全性について検討する

なお、全体会議、WG、実行委員会等名簿は、「5. 全体会議・WG等名簿」に記する。